



## 創刊号

ご自由にお持ち帰りください。

そらの下には  
笑顔がある。





## 皆が力を合わせて「ともに生きる」 病院でありたいと思います。

おおぞら病院(旧吉田病院)は昭和45年、番町小学校の南側(三番町)に創立されました。今年で45周年を迎え建物も老朽化し、病院としての機能も追いつかなくなって参りましたので、この度病院名も「おおぞら病院」と変え六軒家町に新築移転することに致しました。

おおぞら病院は、今まで通り回復期リハビリ病棟と急性期病棟を有する病床数108床の病院です。これから高齢化社会に突入し、生活習慣病、転倒骨折、誤えん性肺炎、認知症などの患者さまが増え続けることが予想されます。この事態に対し、一人一人の患者さまに合った全人的医療、総合診療科的な医療を心がけることが大切だと考えます。

私たちは患者さまを中心に、家族の方とも向き合い話し合いながら、温かい思いやりのある医療、リハビリ、看護を提供し、気持ち良く療養に専念して頂きたいと思います。そして、患者さまが1日も早く住み慣れた自宅に戻り、家族と共に暮らせるように努めます。おおぞら病院は患者さま、家族、地域、医療者と皆が力を合わせ「ともに生きる」、そんな温かく質の高い病院でありたいと思います。

平成27年1月 医療法人同仁会 おおぞら病院

理事長 院長 山下治彦



患者さまのニーズにお応えし、  
サービスの充実に努めて参ります。



副院長 吉田 直彦

当院は「糖尿病」「内視鏡」「乳腺」など、専門性の高い外来診療と入院を中心とした「リハビリテーション」、疾病の早期発見・早期治療のための「健康サポートセンター」を特徴として運営して参りました。おおぞら病院でも、今までの特徴をさらに充実し、患者さま中心の医療ができるように努めて参ります。また新病院では、外来リハビリテーションや訪問看護・訪問リハビリの拡充など、患者さまのニーズにお応えできるよう、更なるサービスの充実にも努めて参ります。今まで以上に地域に必要とされる、魅力ある病院を目指して参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

病気になってからもその人らしく  
生きていける医療を心がけます。



副院長 上甲 隆敏

昨年11月より副院長・リハビリテーションセンター長として着任しました上甲隆敏と申します。おおぞら病院は、理念に示してありますように「地域の皆さまに親しまれ、信頼され、満足される病院」を目指しています。その方針のなかで、病気になってからもその人らしく生きていけることを目指すリハビリテーション医療の果たす役割は大きいと思います。私はもとより微力ではありますが、職員の皆さんと力を合わせて質の高いチーム医療を提供し、地域の皆さまのお役に立ちたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



## 理念 施設紹介



### 理念

私たちは、地域の皆さまに親しまれ、信頼され、満足される病院を目指します

#### 基本方針

##### 1. 患者さま中心の医療

笑顔と気配りで、患者さま中心の心の通った医療を行います

##### 2. 質の高いチーム医療

責任感を持って仕事に携わり、質の高いチーム医療を実践します

##### 3. 地域に貢献できる医療

地域の皆さまが安心して生活できるよう、「疾病予防」「専門医療」「地域・医療連携」「リハビリテーション」「在宅支援」の充実に努めます



### 施設コンセプト

1. 近代的で人と地球に優しい病院
2. 患者さまの視点に立った分かりやすく快適な病院
3. 職員がいきいきと働き、育つ病院
4. 将来の医療・介護需要の変化に柔軟に対応できる病院
5. 地域から信頼され、愛される病院
6. 街並みづくりに貢献できる病院

### 施設の特徴

#### 開放的で歩きたくなる空間

自然光や植物を取り入れた開放的で病院を感じさせない空間設計となっています。リハビリの時間以外でも自発的に動き、立ち寄りたくなるような場所・空間も設けて、歩く楽しみを作りました。



#### リハビリ施設

2階に300㎡の広いリハ室を設けて、専門的器具を利用したリハビリと外来リハビリに対応します。また、回復期リハビリ病棟内にも100㎡以上のリハ室を設けて、病棟内で日常生活に近い実践的訓練を行います。

#### 意見箱「宝箱」

我々は皆さまから頂くご意見が何よりの宝と考えています。たくさんのご意見を頂けるように、1階受付横に木製の松山城をモチーフとした「宝箱」を設置致しました。製作は福角町の共同作業所「木麦の家」にお願いしています。各階にも意見箱を設置しておりますので、皆さまからたくさんの「宝」を頂き、より良い病院作りに反映させて頂けます。

#### スタッフステーション

入院中看護師だけでなく、医師、リハビリスタッフなど多職種が集まり、患者さまの情報を共有し、話し合うことでより良い医療ができると考えます。今までの「ナースステーション」という名称から、院内スタッフ全員が集まる「スタッフステーション」へと名称を改めました。



#### 屋上庭園「そらにわ」

屋上庭園「そらにわ」では、様々な種類の植物が植えられ、四季折々の景色を見ることができ、ご家族の方やリハビリの方にもご利用頂けます。



屋上庭園「そらにわ」には、現在様々な種類の植物を植えています。これから春にかけて木々や草花が成長し、色彩豊かな庭園を楽しんで頂ける予定です。



#### 研修室

研修室は院内イベントだけでなく、糖尿病教室などの市民向け講演会にも使用できるようになっています。



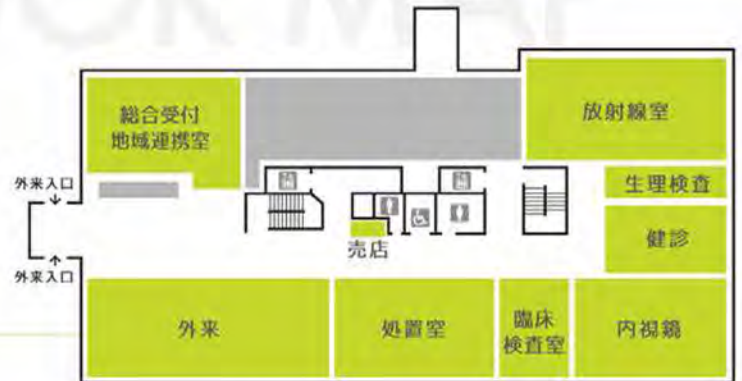
# フロアマップ



## FLOOR MAP

- 総合受付
- 外来
- 処置室
- 臨床検査室
- 内視鏡
- 健診
- 生理検査
- 放射線室
- 地域連携室
- 売店

1F



- リハビリテーションセンター
- 住宅シミュレーション室
- 図書館・会議室
- 言語療法室
- 職員ラウンジ
- 管理エリア
- 研修室
- 訪問看護ステーションあい

2F



- スタッフステーション
- 薬局
- 談話室
- 特殊浴室
- シャワー室
- 病室

3F



4F

- スタッフステーション
- リハビリテーション室
- 介助浴室
- 一般浴室
- 言語療法室
- 光庭
- 食堂兼談話室
- 病室



5F

- リハビリテーション室
- 言語療法室
- 屋上庭園



# 部門紹介



## 外来

患者さまが安心して受診頂けるように、  
温かく笑顔でお迎え致します。

私たち外来は、当院を訪れる全ての患者さまに初めて関わらせて頂く部署として、温かく思いやりのある看護を笑顔で提供できるように日頃より心がけています。当院の特徴としては女性医師の診療が多く、特に乳腺外来では女性技師によるマンモグラフィの撮影、また曜日によっては女性医師による診療を行っておりますので、乳腺外来に抵抗がある方でも安心して受診して頂けると思います。1日も早く患者さまのお顔やお名前を覚え、より安心して診療や検査を受けて頂けるように努めて参ります。



## 3 階（一般病棟及び地域包括病床）

様々な疾患に対する知識を深め、  
専門性を活かしたチーム医療に取り組みます。

3階病棟は一般病棟42床・地域包括ケア病床6床の計48床です。一般病棟では、糖尿病・脳血管障害・整形・呼吸器・癌などの疾患をお持ちの方の入院加療を行っています。地域包括ケア病床は在宅復帰を目指したリハビリ中心の病床です。病棟として様々な疾患の患者さまに対応するために、①患者さまの疾患に対する知識を深め病態を正しく評価し、話し合う、②患者さまの早期離床・早期退院を目指す、③全職種が患者さま情報を共有し、専門性を活かしてチーム医療に取り組むという方針を掲げ、患者さまにより信頼される看護・リハビリを目指し取り組んでいます。



## 4 階（回復期リハビリ病棟）

患者さまの在宅復帰を目指し、全スタッフが  
一丸となり支援やプログラムを行っています。

回復期リハビリ病棟のコンセプトは、患者さまが病気を発症する前の生活に戻ることです。在宅復帰を目指し、日常生活を送る上で必要な心身機能の回復を促し、食事、着替え、排泄、入浴といった身の回りの動作を主体的に行えるよう支援させて頂きます。また、認知症や高次脳機能障害、言語障害の方の生活能力を高める取り組みや、生活支援・復職支援についても関わりを持っています。当院ではリハビリの時間以外にも、寝たきりや認知症の予防・改善を図るための活動（入院デイケア）を行っており、午前と午後のリハビリ時間外の患者さまが談話室に集まり、毎月のプログラムに沿って体操やゲーム、楽器演奏、合唱などを行っています。患者さまやご家族の笑顔がたくさん見られるよう、全スタッフが一丸となって日々頑張っています。



## 放射線科

新しい設備でベテラン技師による  
検査を受けて頂けます。

放射線室は当病院歴38年のベテラン技師 白石と、マンモグラフィ撮影技術A認定の実力派技師 石山の2人で様々な業務を行っています。放射線室の設備もパワーアップし、全ての画像のデジタル化が実現したことで、院内各所のモニターで画像の確認や診断がスピーディーに行われるようになりました。また、コードレスタイプの撮影機器の導入により病室での撮影もこれまでより容易になり、一般撮影では撮影台に昇降機能が付くなど検査を受ける方にやさしい装置になりました。放射線のことで分からないことなどございましたら、お気軽にお尋ね頂ければと思います。





# 部門紹介



## 内視鏡室

**「痛くない」「しんどくない」「安全」な検査ができるよう工夫を重ねています。**

内視鏡室では、年間約1700件の胃カメラと約300件の大腸カメラの検査を行っています。胃カメラや大腸カメラは、「痛い」「しんどい」「大変」という噂があり、しぶしぶ検査に来られる方もいらっしゃいますが、当院では「痛くない」「しんどくない」「安全」な検査ができるように工夫を重ねて参りましたので、検査終了後「こんなに楽ならもっと早くすればよかった」という御声を多く頂きます。最近、高画質の画像プロセッサーを導入し、細いカメラ（経鼻内視鏡）でも精度の高い診断が可能になりました。1人でも多くの方の健康のために、早期発見・早期治療で役立ちたいと頑張っています。



## 薬剤部

**医療安全を最優先し、入院中のフォローや退院指導につなげています。**

調剤業務は医療安全を最優先し、入院調剤は錠剤1包化（外来は院外処方）、注射も個別セット払い出しを行っています。服薬指導については、患者さまと入院時より関わることで持参薬の確認・整理、副作用・アレルギーのチェック、スタッフへの院内代替薬の情報提供などを行い、入院中のフォローや退院指導につなげています。また多職種で関わるチーム医療でも、薬剤師としての専門性を活かして活動を行っており、今後は糖尿病や緩和ケアにも力を入れていきたいと考えています。薬剤師として常に患者さまの視点に立った薬剤業務を目指して参ります。



## 臨床検査室

**迅速で正確な検査を行い、安心して検査を受けて頂けるよう心がけています。**

現在検査室は4人の技師で仕事にあっており、主な業務は検体検査と生理機能検査です。検体検査は生化学検査、血液検査、尿・便検査、微生物検査などがありますが、患者さまに速やかに検査結果をお伝えできるよう、迅速で正確に検査をしています。また、生理機能検査では直接患者さまと接するため、安心して検査を受けて頂けるよう丁寧で明るい対応を心がけています。その他には心電図、聴力検査、肺機能検査、眼底検査、動脈硬化の検査なども行っております。





## 栄養管理室

**スタッフで知恵を出し合い、患者さまの栄養管理や安全で美味しい食事作りを行っています。**

栄養管理室は管理栄養士、栄養士、調理員10名で、入院患者さまの食事作りと栄養状態のチェックや、入院・外来の患者さまの栄養に関する相談などを行っています。患者さまにお出しする食事は、「自分が食べて美味しいと思える食事」を心がけています。患者さまそれぞれの病態に合わせ、安全で美味しい食事をお出しできるようスタッフで知恵を出し合っています。栄養状態の悪い患者さまに対しては、他の部署のスタッフとも連携しながら栄養状態の改善を図っています。栄養相談では、まずは患者さまのお話をよく伺うことを大切にしています。栄養指導（予約制）につきましては医師または看護師にお気軽にご相談ください。



## 地域連携室

**それぞれの得意分野を活かし、外部機関との連携やサービスのご提案を行っています。**

地域連携室では、入院時（前方支援）・退院時（後方支援）における患者さまの社会的問題や介護の問題の解決に向けた相談援助を主な業務として取り組んでおります。現在5名体制で、それぞれが医療機関や介護施設、障害者施設などでの勤務経験を有しており、各人の経験や得意分野を活かしながら外部医療機関との連携、介護保険サービスや障害福祉サービスなど社会資源の提案などを行っています。また、内部の医師や看護師、リハビリスタッフとの連携も図りながら患者さまの支援を行っています。これからも「相談しやすい連携室」を目指して参ります。



## 医事課

**来院される皆さまに気持ち良く過ごして頂けるよう取り組んでいます。**

医事課は外来業務と入院業務があり、それぞれの受付と会計を行っています。当院では電子カルテの導入により受付や会計のより円滑な対応が可能となりました。外来窓口は患者さまが最初に訪れるところですので、特に気持ちの良い受付と速やかな対応を心がけています。入院業務では、入院中の費用がお安くなる制度のご説明などを行い、安心して入院療養ができるようご提案させて頂いております。これからも来院される皆さまに気持ち良く過ごして頂けるよう取り組んで参ります。



## 健康サポートセンター

**開放的で明るい施設で、検査当日に結果説明まで行うことができます。**

当院の健康サポートセンターの特徴は、病院併設型であるため検査当日に検査から結果説明まで行うことができ、開放的で明るくゆったりとした新しい施設で健診を受けて頂くことができます。また、ご本人さまのご希望に添えるようなきめ細かな対応をさせて頂きます。健康診断は自分の健康状態を知って生活習慣病を予防し隠れた病気を発見するために行われていますが、健康サポートセンターでは1年に1回は健診を受けるよう推奨しており、健診を受けることの大切さを理解して頂けるよう取り組んでいます。





## 一般外来

|      | 診療時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土    |
|------|-------------|---|---|---|---|---|------|
| 一般内科 | 9:00～13:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    |
|      | 14:00～18:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △    |
| 糖尿病  | 9:00～13:00  | ○ |   | ○ | ○ |   | ○隔週  |
|      | 14:00～18:00 | ○ | ○ |   |   | ○ | △    |
| 呼吸器  | 9:00～13:00  | ○ |   |   | ○ |   | ○月2回 |
|      | 14:00～18:00 |   |   |   |   |   | △    |
| 神経   | 9:00～13:00  |   |   | ○ |   |   | ○月2回 |
|      | 14:00～18:00 |   |   |   |   |   | △    |
| 肝臓   | 9:00～13:00  |   |   | ○ | ○ |   | ○月2回 |
|      | 14:00～18:00 |   | ○ |   |   |   | △    |
| 乳腺   | 9:00～13:00  |   | ○ |   |   |   | ○    |
|      | 13:00～17:00 |   |   |   |   | ○ | △    |
| リハビリ | 9:00～13:00  |   |   | ○ |   | ○ |      |
|      | 14:00～18:00 | ○ |   |   |   |   |      |
| 内視鏡  | 胃カメラ（随時）    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○    |
|      | 大腸カメラ（要予約）  | ○ |   | ○ | ○ | ○ | △    |

受付時間 平日 〔午前〕8:30～12:30 〔午後〕13:30～17:30

※1 土曜日は受付、診療とも12:00までとなります。

※2 〇は女性医師が担当しています。

## 専門外来

- 物忘れ外来
- 禁煙外来
- 睡眠時無呼吸症候群（SAS）外来
- 摂食嚥下外来

- 言語療法外来（ことばの教室）
- 糖尿病教室（市民向け公開講座）
- 栄養指導

※専門外来の詳細は、電話にてお問い合わせ下さい。



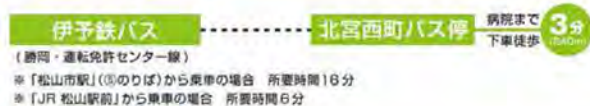
### アクセスマップ

### ACCESS MAP

#### 電車利用の場合



#### バス利用の場合



#### 車利用の場合

駐車場 60台有



おおぞら病院  
OOZORA HOSPITAL

愛媛県松山市六軒家町4-20  
TEL 089-989-6620

面会時間 毎日7:30～20:00

病院全館・敷地内禁煙